

指定管理施設事業評価票(平成30年度分)

1. 施設所管課 観光経済 部 藤原観光 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市川治温泉薬師の湯			
	所在地	日光市川治温泉川治277番地			
指定管理者	名称	一般社団法人 川治薬師の湯管理協会			
	代表者名	代表理事 関本 昭			
	住所	日光市川治温泉川治22番地			
指定期間		平成29年4月1日		～ 令和4年3月31日	5年間
選定方法		非公募		評価実施年	5年間のうち2年目
施設設置目的		市民の保養と健康増進を図り、かつ、観光事業の振興を図ることを目的とする。			
主な実施事業		温泉入浴施設事業			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	利用者数	人	39100	34682	36600	32555						
b	清掃を行う		毎日	毎日	毎日	毎日						
c	電気料の削減		-10%	-3%	-10%	84%						
d												
e												

4. 指定管理業務にかかる収支状況 (単位:円)

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
収入計 A		15,015,738	23,863,544	0	0	0
指定管理料	指定管理料					
	利用料収入 C	8,946,100	8,593,940			
	自主事業収入	3,114,625	3,450,601			
	その他	2,955,013	11,819,003			
支出計 B		16,588,653	23,875,171	0	0	0
指定事業費	指定事業費	16,567,653	23,336,742			
	内人件費 D	5,146,700	4,569,900			
	内外部委託費 E					
自主事業費		21,000	538,429			
事業収支 A－B		-1,572,915	-11,627	0	0	0
人件費率 D／B		31.03%	19.14%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E／B		0.00%	0.00%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	電気料金の大幅な増加は契約会社が、東京電力シナジーパートナーから東京電力パワーグリッドに変更された為であり、平成31年から東京電力シナジーパートナーと契約をした。

サービス改善の状況

施設の清掃など環境改善等を図り、利用客に快適な利用ができるように図った。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	A	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	A	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
	管理記録	協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
		業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	B
② サービスの 質の評 価	施設管理	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	B
		協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	A	B
	利用者対応	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	B
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
	事業運営	緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	B	B
		避難経路が適切に確保されている。	B	B
	維持管理	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B
		協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
	利用者対応	事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
	③ 安定性	事業運営	利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B
言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。			B	B
維持管理		事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
環境配慮		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	A	B
広報活動		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
苦情等対応		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
		環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
所見 (成果・課題等)		利用者アンケート	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。		B	B
	利用状況	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	A	B
		利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	総括	利用実績は、目標水準である。	C	C
		「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	A
		収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費削減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	C
		収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	C	C
(指定管理者自己評価)				
前年度総合評価	C(要改善)	人件費については、事務の効率化を図り削減することができた。		
		電気料の削減目標を達成するため、ヒートポンプの稼働時間短縮等の方策を積極的に進める。		
	総合評価	(所管課評価)		
		人件費削減について、薬師の湯管理協会が事務の効率化を図り削減することができた。		
	C(要改善)	電気料を含め経費削減が急務である。		

※評価区分

評価基準	A(優良)	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良)	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	=	A、C 以外
	C(要改善)	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	=	A、C 以外
	C(要改善)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。